

2025 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		一般科目		学科・コース名		エアポートサービス科		グランドハンドリングコース		開講時期	1年次	通年
授業科目名	人間学 I			担当教員名	A科常勤教員・就職キャリア支援センター・学生支援課 (1~5,9~13,15回) (6~8回) (14回)							
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修					
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	学生一人一人が教育理念を理解し、目標に向かって大切な時間を過ごしていくために心掛けて欲しい事項、および自分のキャリアデザインを実現するために必要な自己分析や企業研究等の方法、考え方等を講義、グループディスカッション、講演会、奉仕活動などを通して学ぶ。											
到達目標 (150文字程度)	本校の教育理念「技術者たる前に良き人間たれ」を十分理解し、規則正しい生活習慣を身につけ、ルールを遵守する。 自分のキャリアデザインを描く。自分の強みを発見し、発信することができる。 仕事の価値観をつかみキャリアデザインの実現に生かす。											
評価方法	定期試験				その他の評価方法							
	筆記試験	レポート	課題レポート	取り組み姿勢								
教員実務経験	—											
学生へのメッセージ (150文字程度)	人間学を通じ、自分の夢を実現させ幸せになるためには具体的にどのようにすれば良いのか考えて行動する習慣を身に付けてください。また、自分のキャリアデザインを実現するために自分と会社についてよく知り、自分にとって的確な会社選びができるよう積極的に取り組んでください。											
教科書	書名	社会人基礎力講座				書名						
	書名					書名						
参考書	書名					書名						
	書名					書名						

授業計画 (各回ごとの項目と内容について) ※実施時期は適宜設定		
回=90分	項目	内容
1	教育理念	(1)教育理念、ディプロマ・ポリシー(2)学園・学校の歩み
2		
3	勉学開始に当たり	(1)キャリア・デザインとキャリア形成(2)基礎学力と生活習慣(3)英語の必要性(4)学内ルールの遵守(5)犯してはならないこと、注意したいこと
4	人間性と人生	(1)人生の出発点、(2)自己実現の欲求、(3)コミュニケーションによって開く未来
5		
6※	キャリアデザイン	ガイダンス1
7※		ガイダンス2
8※		ガイダンス3
9		(1)就職活動を成功させるために (2)自己分析 (3)職種・業界研究 (4)履歴書・業界研究 (5)企業採用試験
10		
11※	グループディスカッション	グループディスカッション
12※		
13※	講演会など	外部講師等による講演または学科教員による講義
14※	コンプライアンス	コンプライアンス
15※	奉仕作業	清掃活動など

2025シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分 一般科目

学科・コース名	エアポートサービス科		グランドハンドリングコース		開講時期	1年次	通年
授業科目名	ビジネスマナー I		担当教員名	田中 希代子			
授業形態	講義	授業時数	60	単位数	4	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	社会人としての一般常識を身につけ、行動化できるよう挨拶や言葉遣い等マナーの基本を座学・実習を通じて学ぶ。 より良い第一印象に繋がる自己表現力の基礎を習得する。						
到達目標 (150文字程度)	なぜマナーが必要なのかを考える。 社会人として必要な行動、言葉遣い、礼儀等について座学で理解を深める。 採用試験・就業後の実務において、よりよい第一印象を発揮できる自己表現力を学び、行動化する。						
評価方法	定期試験			その他の評価方法			
	筆記試験	レポート	小レポート	取り組み姿勢			
		40%	40%	20%			
教員実務経験	エアラインにおける採用面接官						
学生へのメッセージ (150文字程度)	マナーの原点は、相手を思いやり、より良い関係を創り出すことです。社会に出てから、お客様と一緒に働く上司・仲間から愛される力を身につけましょう。就職対策にも、実務でも、プライベートでも役立つマナーを学び、心配りと共にアクティブラーニングで行動化しましょう。						
教科書	書名	ビジネスマナーの基本ルール		書名			
	書名			書名			
参考書	書名			書名			
	書名			書名			

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	社会人に必要なマナーの基本	講義概要・修学目標説明、自己紹介(動画撮影)
2		好印象を与えるコミュニケーション I ①座学・実習(第一印象の重要性)
3		自己分析(エゴグラム)・未来像を描く
4		好印象を与えるコミュニケーション I ②座学・実習(所作)
5		好印象を与えるコミュニケーション I ③座学・実習(言葉遣い・敬語)
6		情報収集(ニュース・新聞の読み方)
7		好印象を与えるコミュニケーション I ④座学・実習(敬語・話し方)
8		好印象を与えるコミュニケーション I ⑤座学・実習(話し方・聴き方)
9		①～⑥振り返り 自己PR(動画撮影)
10		手紙のマナー・ペン習字①(氏名練習)
11	ビジネスシーンのマナー	ビジネスマナーの必要性・社会人としての心構え・名刺交換
12		電話応対/ビジネスメール
13		宛名書き練習
14	グループワーク	グループディスカッション・合意形成
15	話し方演習	話の組み立て①スピーチ作成①(自己紹介・自己PR)
16		話の組み立て②スピーチ演習①(自己紹介・自己PR)
17	自己分析	自己分析①
18		面接想定質問
19		企業研究
20		エントリーシート・履歴書作成(作文・手書き練習)
21		自己PR動画撮影
22	就職活動のマナー	身分証明写真
23		企業説明会について
24		オンライン面接対策
25	面接演習	好印象を与えるコミュニケーション II ①面接演習(第一印象づくり 入室～自己紹介)
26		好印象を与えるコミュニケーション II ②面接演習(話し方 自己PR)
27		好印象を与えるコミュニケーション II ③面接演習(言葉遣い 志望動機)
28		好印象を与えるコミュニケーション II ④面接演習(入室～面接～退室)
29		好印象を与えるコミュニケーション II ⑤面接演習(総合演習)身だしなみ
30		好印象を与えるコミュニケーション II ⑥面接演習(総合演習)身だしなみ

2025 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分 一般科目

学科・コース名	エアポートサービス科	グランドハンドリングコース			開講時期	1年次 前期
授業科目名	スキルアップ		担当教員名	田中 陽彦		
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分 必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	1. 就職試験において広く実施されている能力・適性検査対策として、非言語分野を中心にSPI3演習を実施する。 2. SPI演習を通じて、数的能力を中心に、基礎的能力の向上を図り、各種問題に対処する際の考え方を理解する。					
到達目標 (150文字程度)	現行の就職試験で実施されているSPI3の非言語分野における基礎的なレベルの能力の定着を図る。基礎的なレベルの能力の定着を図り、確実な点数取得につなげることを目標とする。					
評価方法	定期試験		その他の評価方法			
	筆記試験	レポート				
教員実務経験	—					
学生へのメッセージ (150文字程度)	就職対策としての取り組みにとどまらず、社会人としての一般常識となる基礎能力の向上を図る意識を持って、自主的かつ積極的な取り組みを期待する。					
教科書	書名	文系学生のためのSPI3完全攻略問題集2027年度版	書名	高橋書店		
	書名		書名			
参考書	書名	一般常識&SPI	書名	あつという間にまるわかり！一般常識		
	書名	あつという間にまるわかり！SPI問題集	書名			

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	SPI対策演習	オリエンテーション(本講義全般の内容・構成及び意義・目的の説明)、四則演算
2		小数、分数の計算
3		方程式
4		割合・比
5		損益算
6		仕事算
7		濃度算
8		速さ
9		
10		場合の数、確率
11		命題
12		集合
13		推論
14		判断推理
15		総合演習問題

2025 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		一般科目				開講時期	1年次	後期
学科・コース名	エアポートサービス科		グランドハンドリングコース					
授業科目名	一般教養		担当教員名	田中 陽彦				
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修	
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	1. 就職試験において広く実施されている能力・適性検査対策として、言語分野を中心にSPI3演習を実施する。 2. SPI3内容に加え、一般教養・時事問題・国内海外地理の知識を習得する。							
到達目標 (150文字程度)	現行の就職試験で実施されているSPI3の言語分野における基礎的なレベルの能力の定着を図る。また、一般教養・ニュース・地理分野への関心を高め、社会人としての基礎知識習得につなげることを目標とする。							
評価方法	定期試験			その他の評価方法				
	筆記試験	レポート						
教員実務経験	—							
学生へのメッセージ (150文字程度)	就職対策としての取り組みにとどまらず、社会人としての一般常識となる基礎能力の向上を図る意識を持って、自主的かつ積極的な取り組みを期待する。							
教科書	書名	文系学生のためのSPI3完全攻略問題集2027年度版			書名	高橋書店		
	書名				書名			
参考書	書名	ドリル式一般常識問題集2023年度版			書名			
	書名				書名			

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	SPI対策演習 (非言語)	オリエンテーション(本講義全般の内容・構成及び意義・目的の説明)、前期振り返り
2		判断推理
3		資料の読み取り
4		物流
5		ブラックボックス
6		グラフと領域
7	SPI対策演習 (言語)	空間把握
8		二語の関係、熟語の成り立ち、語句の用法
9		長文読解、文章の並べ替え
10	一般常識	時事問題・ニュース
11		ことわざ・慣用句・格言・名言
12		社会科学
13		漢字の読み書き
14		国内地理・世界地理
15	まとめ	総合演習問題

2025 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		一般科目					
学科・コース名	エアポートサービス科		グランドハンドリングコース		開講時期	1年次 後期	
授業科目名	キャリアプランニング		担当教員名	1年担任			
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	就職活動の前提となる全国の航空系企業の研究と志望企業選定に関わる指導、ならびに就職選考試験に求められるエントリーシート・履歴書の作成要領、及び面接対策等に関わる包括的な就職指導を行う。						
到達目標 (150文字程度)	就職活動を円滑かつ着実に進める為、全国の各企業の特徴や求められるレベルに応じた自己の改善課題を把握の上、各自の自主的かつ主体的な取り組みを進めることで、志望企業応募の準備を行うことを目標とする。						
評価方法	定期試験			その他の評価方法			
	筆記試験	レポート	取り組み姿勢				
		50%	50%				
教員実務経験	エアラインの空港実務経験						
学生へのメッセージ (150文字程度)	就職は専門学校入学の最大の目的であり、就職選考は人生で最も重要な節目の一つとなることを自覚の上、しっかりとした自らの意志を持って取り組み、就職に向けた着実な準備を行って頂きたい。						
教科書	書名		書名				
	書名		書名				
参考書	書名		書名				
	書名		書名				

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	オリエンテーション	本講義全般の内容・構成及び意義・目的の説明
2	志望企業の研究	全国航空系企業の研究
3	エントリーシートの準備・作成	エントリーシート①: 自己分析
4		エントリーシート②: 自己PR
5		エントリーシート③: 志望動機
6		エントリーシート④: エントリーシート演習
7		エントリーシートまとめ
8	履歴書の準備・作成	履歴書①
9		履歴書②
10		履歴書まとめ
11	面接対策	面接対策①
12		面接対策②
13		面接対策③
14	フォローアップ	上記各課題のフォローアップ
15	まとめ	本講義の総括

2025 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分 一般科目

学科・コース名	エアポートサービス科 グランドハンドリングコース				開講時期	1年次	通年
授業科目名	コミュニケーション アクション体育 I		担当教員名	藪島 昌尚			
授業形態	実習	授業時数	60	単位数	1	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	人体の各器官の役割や性質の理解。病気やけがなどの知識。体力の保持増進の方法。以上などを理解し、将来にわたり健康に過ごすことができる習慣を身につける。						
到達目標 (150文字程度)	体の各器官働きを理解し、体力の向上、健康の保持増進のための方法を理解し、実践できる。						
評価方法	定期試験			その他の評価方法			
	筆記試験	レポート	取り組み姿勢	課題評価	授業への出席率と課題追及への態度 課題の内容と課題達成度(発表内容)		
	なし	なし	50%	50%			
教員実務経験							
学生へのメッセージ (150文字程度)	将来に役立つ健康の知識と体力増進の方法を身に付け、将来に役立てましょう。						
教科書	書名			書名			
	書名			書名			
参考書	書名			書名			
	書名			書名			

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	オリエンテーション	授業計画とその内容、単位時間の流れを知る。自己紹介とグループ作り。
2	体力診断 I	体力診断テスト・個人課題の設定 基礎トレーニング
3	身体と運動①	筋肉の種類とその特徴 スローストレッチ
4	身体と運動②	骨格とストレッチ 筋力トレーニング
5	身体と運動③	アイトニックとアイソメトリックトレーニング 筋力トレーニング
6	身体と運動④	血管の働きと運動 筋力トレーニング
7	身体と運動⑤	血圧と運動 筋力トレーニング
8	身体と運動⑥	血液の役割 筋力トレーニング
9	健康と運動①	免疫とは 筋力トレーニング
10	健康と運動②	熱中症とその予防 ストレッチと基礎トレーニング
11	健康と運動③	CPRとAED ストレッチと基礎トレーニング
12	軽スポーツ体験①	ダーツ体験 ストレッチ
13	軽スポーツ体験②	ダーツ体験 ストレッチ
14	軽スポーツ体験③	ダーツ体験 ストレッチ
15	軽スポーツ体験④	ダーツ体験 ストレッチ
16	健康と運動④	睡眠と運動の関係 ストレッチと基礎トレーニング
17	健康と運動⑤	眼の役割と病気 ストレッチと基礎トレーニング
18	健康と運動⑥	心臓の働きとトレーニング ストレッチと基礎トレーニング
19	健康と運動⑦	寿命と運動 ストレッチと基礎トレーニング
20	健康と運動⑧	がんの発生と予防 ストレッチと基礎トレーニング
21	健康と運動⑨	ストレスと運動 ストレッチと基礎トレーニング
22	軽スポーツ体験⑤	モルック体験 ストレッチ
23	軽スポーツ体験⑥	モルック体験 ストレッチ
24	軽スポーツ体験⑦	モルック体験 ストレッチ
25	軽スポーツ体験⑧	モルック体験 ストレッチ
26	健康と運動⑩	環境と運動(適応能力) ストレッチと基礎トレーニング
27	健康と運動⑪	疲労と運動 ストレッチと基礎トレーニング
28	健康と運動⑫	食事と運動 ストレッチと基礎トレーニング
29	個人課題追究	個人設定課題追究
30	個人課題追究	個人課題発表

2025 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分 一般科目

学科・コース名	エアポートサービス科		グランドハンドリングコース		開講時期	1年次	通年
授業科目名	英検 I		担当教員名	荒田 修央			
授業形態	講義	授業時数	210	単位数	14	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	航空業界に求められる資格の一つである英検3級合格以上を目標に学問としての英語を道具としての英語に置き換える。						
到達目標 (150文字程度)	実用英語検定3級合格または同等能力の獲得を目指す。						
評価方法	定期試験			その他の評価方法			
	筆記試験	レポート	小テスト	課題			
	80%	0%	10%	10%			
教員実務経験	企業間取引現場での通訳 貿易翻訳 留学支援及び英会話指導						
学生へのメッセージ (150文字程度)	今までの英語学習の概念を少し変えて新しい英語に挑戦する気持ちで頑張ってください。						
教科書	書名	即効! 英文法 基礎力			書名	英検トレーニングゼミ3級 改訂版	
	書名	英検道場J 準2級			書名		
参考書	書名	新訂七版 チャート式 ラーナーズ高校英			書名		
	書名				書名		

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)			
回=90分	項目	内容	
1		英語による自己紹介、年間目標を英作文	
2		英検 トレーニングゼミ テキスト Lesson1 語彙 文法	
3		英検 トレーニングゼミ テキスト Lesson1 トレーニング1・2	
4		英検 トレーニングゼミ テキスト Lesson1 リスニング	
5		Lesson1 総括 復習 小テスト	
6		英検 トレーニングゼミ テキスト Lesson2 語彙 文法	
7		英検 トレーニングゼミ テキスト Lesson2 トレーニング1・2	
8		英検 トレーニングゼミ テキスト Lesson2 リスニング	
9		Lesson2 総括 復習 小テスト	
10		英検 トレーニングゼミ テキスト Lesson3 語彙 文法	
11		英検 トレーニングゼミ テキスト Lesson3 トレーニング1・2	
12		英検 トレーニングゼミ テキスト Lesson3 リスニング	
13		Lesson3 総括 復習 小テスト	
14		英検 トレーニングゼミ テキスト Lesson4 語彙 文法	
15		英検 トレーニングゼミ テキスト Lesson4 トレーニング1・2	
16		英検 トレーニングゼミ テキスト Lesson4 リスニング	
17		Lesson4 総括 復習 小テスト 第1回確認テスト	
18		英検 トレーニングゼミ テキスト Lesson5 語彙 文法	
19		英検 トレーニングゼミ テキスト Lesson5 トレーニング1・2	
20		英検 トレーニングゼミ テキスト Lesson5 リスニング	
21		Lesson5 総括 復習 小テスト	
22		即効英文法 1 現在形 be 動詞 一般動詞	
23		即効英文法 2 過去形	
24		ディクテーション&レシテーション 第2回確認テスト	
25		即効英文法 3 名詞・代名詞	
26		即効英文法 4 疑問文で始まる疑問文	
27		英検 トレーニングゼミ テキスト Lesson6 語彙 文法	
28		英検 トレーニングゼミ テキスト Lesson6 トレーニング1・2	
29		英検 トレーニングゼミ テキスト Lesson6 リスニング	
30		Lesson6 総括 復習 小テスト	

回=90分	項目	内容
-------	----	----

31			英検 トレーニングゼミ テキスト Lesson7 語彙 文法
32			英検 トレーニングゼミ テキスト Lesson7 トレーニング1・2
33			英検 トレーニングゼミ テキスト Lesson7 リスニング
34			Lesson7 総括 復習 小テスト
35			英検 トレーニングゼミ テキスト Lesson8 語彙 文法
36			英検 トレーニングゼミ テキスト Lesson8 トレーニング1・2
37			英検 トレーニングゼミ テキスト Lesson8 リスニング
38			Lesson8 総括 復習 小テスト
39			英検各級2次試験対策
40			試験作文問題 第3回確認テスト
41			即効英文法 5 進行形
42			即効英文法 6 いろいろな文
43			即効英文法 7 助動詞
44			助動詞小テスト
45			即効英文法 8不定詞・動名詞
46			英検 トレーニングゼミ テキスト Lesson9 語彙 文法
47			英検 トレーニングゼミ テキスト Lesson9 トレーニング1・2
48			英検 トレーニングゼミ テキスト Lesson9 リスニング
49			Lesson9 総括 復習 小テスト
50			英検 トレーニングゼミ テキスト Lesson10 語彙 文法
51			英検 トレーニングゼミ テキスト Lesson10 トレーニング1・2
52			英検 トレーニングゼミ テキスト Lesson10 リスニング
53			Lesson10 総括 復習 小テスト 第4回確認テスト
54			英検総括 トレーニングゼミ 熟語集
55			後置修飾 形容詞・前置詞・不定詞(形容詞的用法)
56			後置修飾 現在分詞・過去分詞
57			後置修飾 接触説
58			後置修飾 関係代名詞
59			英検トレーニングゼミ ワークシート Lesson 1 空所補充問題 (1)
60			英検トレーニングゼミ ワークシート Lesson 2 空所補充問題 (2)

回=90分	項目	内容
61		英検トレーニングゼミ ワークシート Lesson 3 空所補充問題 (3)
62		英検トレーニングゼミ ワークシート Lesson 4 会話文の空所補充問題 (1)
63		英検トレーニングゼミ ワークシート Lesson 5 会話文の空所補充問題 (2)
64		即効英文法 9接続詞 第5回確認テスト
65		即効英文法 10 文型
66		即効英文法 11 比較
67		即効英文法 11 比較 最上級 同党比較
68		現在完了形について
69		即効英文法 12 現在完了
70		英検トレーニングゼミ ワークシート Lesson 6 長文読解(1)
71		英検トレーニングゼミ ワークシート Lesson 6 長文読解 精読
72		英検トレーニングゼミ ワークシート Lesson 7 長文読解(2)
73		英検トレーニングゼミ ワークシート Lesson 7 長文読解 精読
74		英検トレーニングゼミ ワークシート Lesson 8 長文読解(3)
75		英検トレーニングゼミ ワークシート Lesson 8 長文読解 精読
76		英検トレーニングゼミ ワークシート Lesson 9 英作文(1)
77		英検トレーニングゼミ ワークシート Lesson 10 英作文(2) 第6回確認テスト
78		英検トレーニングゼミ ワークシート Lesson 10 英作文(2)
79		英検2次試験対策
80		英語のレシピ
81		即効英文法 13 受動態
82		即効英文法 14 分詞
83		即効英文法 15いろいろな疑問文・否定文 付加疑問文 第7回確認テスト
84		即効英文法 間接疑問文
85		即効英文法 部分否定・全体否定
86		即効英文法 16 関係代名詞 (復習あり)
87		即効英文法 17 総合問題 ① ②
88		即効英文法 17 総合問題 ③ ④
89		即効英文法 演習問題① ②

90			即効英文法 演習問題③ ④
----	--	--	---------------

回=90分	項目	内容
91		即効英文法 演習問題⑤ ⑥
92		即効英文法 演習問題 ⑦
93		文法 ラーナーズ 名詞 動詞 助動詞 前置詞 接続詞
94		文法 ラーナーズ 時制 進行形 現在 過去 未来
95		文法 ラーナーズ 受動態
96		文法 ラーナーズ 完了形
97		文法 ラーナーズ 関係詞
98		文法 ラーナーズ 後置修飾
99		文法 ラーナーズ 基本構文
100		イディオム
101		英検2次試験 対策
102		英検1次試験 英作文 要約
103		英語ゲーム 語彙 スクラブル
104		時事問題
105		1年のまとめ

2025 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		専門科目				開講時期	1年次	集中
学科・コース名	エアポートサービス科		キャビンアテンダント・グラウンドスタッフコース					
授業科目名	空港サービス入門		担当教員名	森 久見子 ・ エアポートサービス科全常勤教員				
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修	
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	1. エアポートサービス科で受講する講義概要(スケジュール・内容)について各担当教員が説明を行う 2. エアポートサービス科で取得を目指す資格の概要と必要な知識について説明を行う 3. 航空業務の基礎知識(空港3レター・航空会社2レター・航空基礎用語)を習得する							
到達目標 (150文字程度)	2年課程であるエアポートサービス科の授業カリキュラム全体の構成と各科目の位置づけを理解し、就職先企業で必要となる航空専門知識・技量を身につけることの重要性を理解する							
評価方法	定期試験			その他の評価方法				
	筆記試験	レポート	知識確認テスト	100%				
教員実務経験	エアライン実務業務							
学生へのメッセージ (150文字程度)	航空専門の基礎知識を最初に確実に身につけ、その後の授業や就職の成果に直結させましょう。就職先企業での早期研修までに最短で1年半の短期間となる実情をふまえ、集中して取り組んでください。							
教科書	書名		書名					
	書名		書名					
参考書	書名		書名					
	書名		書名					

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)			
回=90分	項目	内容	
1	ガイダンス・学科概要	A科全体概要説明・エアポートサービス科担当教員紹介	
2	各コース概要	CA・GSコース全体概要	
3		GHコース全体概要	
4	履修授業概要	各教員担当科目説明	
5		各教員担当科目説明	
6		各教員担当科目説明	
7		各教員担当科目説明	
8		各教員担当科目説明	
9		実習場紹介	モックアップ教室、グラウンドハンドリング実習場紹介
11	航空業務の基礎知識	空港コード(国内)	
12		空港コード(国際)	
13		航空会社コード	
14		航空基礎用語	
15	まとめ	知識確認テスト	

2025 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		専門科目				開講時期	1年次 通年
学科・コース名	エアポートサービス科	キャビンアテンダント・グラウンドスタッフコース					
授業科目名	エアラインビジネス-1	担当教員名	森 久見子 エアポートサービス科常勤講師/一部非常勤講師				
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	1. エアラインの関連事業を知り、様々な企業の概要、業務を学ぶ 2. 激動する航空業界において、航空業界の最新動向やトレンドを学び、航空業界を取り巻く環境について理解を深める						
到達目標 (150文字程度)	航空業界が日本・世界の様々な政治・経済・社会的な動きに連動し、大きく変動する要素を抱える業界であることを正確に理解し、その最新動向について十分な知識と理解を得る						
評価方法	定期試験		その他の評価方法				
	レポート		授業ワーク				
	50%		50%				
教員実務経験	エアライングループ会社でのグラウンドスタッフ実務および業務管理						
学生へのメッセージ (150文字程度)	航空系各企業への就職を希望し、今後航空業界に身を置く学生として、航空会社の関連事業や、時事的な話題にも関心を高め、理解を深めることに主眼を置いて受講してください						
教科書	書名		書名				
	書名		書名				
参考書	書名		書名				
	書名		書名				

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	ガイダンス	本講義概要説明、航空会社の事業領域
2	LCCのビジネスモデル	LCCの特徴、FSCとLCCの違い
3	エアラインの競合企業	エアラインの競合相手、様々な輸送機関
4	環境対策	エアラインの環境に関する取り組み
5	航空関連事業	航空関連事業 企業講話1
6		講話1 総括、レポート
7		航空関連事業 企業講話2
8		講話2 総括、レポート
9		航空関連事業 企業講話3
10		講話3 総括、レポート
11		航空関連事業 企業講話4
12		講話4 総括、レポート
13		航空関連事業 企業講話5
14		講話5 総括、レポート
15	まとめ	本講義の振り返り、総括

2025 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		専門科目					
学科・コース名	エアポートサービス科	キャビンアテンダント・グランドスタッフコース		開講時期	1年次 前期		
授業科目名	空港業務知識 I		担当教員名	森 久見子			
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	航空会社の業務全体像を理解し、航空会社の各職種(主にキャビンアテンダント・グランドスタッフ・グランドハンドリング)に関する基礎的な業務知識や航空保安、航空機利用の流れ、国内各空港の特色や地域特性を学ぶ						
到達目標 (150文字程度)	<ul style="list-style-type: none"> 航空機の運航に携わる様々な職種と業務内容を学び、職種間、部署間のチームワークの重要性を理解する 航空関連の基礎知識を身につける 						
評価方法	定期試験			その他の評価方法			
	筆記試験	レポート	ワーク				
	50%		50%				
教員実務経験	エアライングループ会社でのグランドスタッフ実務および業務管理						
学生へのメッセージ (150文字程度)	航空業界は様々な職種のチームワークで安全第一のオペレーションを実現しています。各自が目指す職種のみにとどまらず幅広い職種に関心を持ち、またすべての職種のベースとなる航空保安の基礎を理解してください。						
教科書	書名	エアラインオペレーション入門		書名			
	書名			書名			
参考書	書名			書名			
	書名			書名			

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	航空機の利用	ガイドランス、飛行機利用の流れ、航空券の予約
2	職種別理解	グランドスタッフ業務概要
3		グランドハンドリング業務概要
4		キャビンアテンダント業務概要
5	空港施設	空港の様々な施設を知る、CIQとは
6	航空保安	不法妨害行為、航空機事故を起こさないために、保安検査、クリーンエリア、ダーティーエリア
7	国内エアライン	国内エアラインの拠点、ハブ空港
8	アライアンス	世界の三大アライアンス、FFPの理解
9	運航を支える業務	空港ハンドリング会社の業務(カーゴ、オペレーション)
10	校外研修準備	校外研修事前学習
11	校外研修振り返り	校外研修振り返り
12	国内空港の特色	国内各地域の空港、特色
13	GH業務理解	グランドハンドリング企業講話
14	航空貨物	航空貨物企業講話
15	まとめ	本講義振り返り、総括

2025 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分	専門科目				開講時期	1年次	通年
学科・コース名	エアポートサービス科		グランドハンドリングコース				
授業科目名	航空貨物基礎		担当教員名	吉田 未愉			
授業形態	講義	授業時数	60	単位数	4	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	航空会社、グランドハンドリング会社、IATA貨物代理店等の、航空貨物事業に従事する者に必要な国際航空貨物の取り扱いに関する基礎的知識の学習。						
到達目標 (150文字程度)	国際航空貨物の取り扱いに関する内容を理解し、航空貨物業界において多岐に渡る業務に対応できる人材になる。						
評価方法	定期試験		その他の評価方法				
	筆記試験	レポート	取り組み姿勢				
	90%		10%				
教員実務経験	企業における貨物取扱いの実務経験						
学生へのメッセージ (150文字程度)	航空貨物の取り扱いには様々な専門用語や規定が存在しますが、あまり身近な内容ではないため、最初は想像しにくい部分もあると思います。学習を進める中で徐々に航空貨物への理解を深めていきましょう。						
教科書	書名	IATA-CARGO INTRODUCTORY COURSE TEXTBOOK (SETに含む)					
	書名	IATA-CARGO INDTRODUCTORY COURSE TACT TRAINING EDITION (SETに含む)					
参考書	書名	国際航空貨物マニュアル		書名	タリフ基礎コース		

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	教育目的、教育スケジュール、各教科書(TACT概要)の説明	各テキストの内容を確認し、前期の授業内容と授業目的を理解する。
2	航空貨物業界を取り巻く各団体とその役割	航空貨物業界を取り巻く各団体、IATAやICAO等の役割とその活動範囲を各テキストを用いて学習し、それらの組織構造と重要性をひも解いていく。
3	航空貨物受託業者の構成	航空貨物の取扱いに際し、中間媒体となるIATA航空貨物代理店の業務内容とその事業形態について、書類作成等の実業務を交えながら学習する。
4-5	航空貨物起点による世界地図の理解と国際間時差や飛行時間の計算、国名、地名、空港名等の簡略化と正式名称の理解	IATA CARGO INTRODUCTRY COUSE TEXTBOOK SETを使用し、各名称のCODING、DECODINGやGMTを基準とした時間軸とそれに付随する都市間飛行時間の計算方法を体系的に学習する。
6-7	TEXT利用による航空貨物搭載可能便のスケジュール検索とそれに付随するCODING、DECODINGの理解	IATA CARGO INTRODUCTRY COUSE TEXTBOOK SETのガイドラインの理解及び利用方法を学習する。また、検索項目に対する様々な手法を確認し、状況にあったガイド索引を可能にする。
8-9	航空機の構造と搭載規定、及び搭載使用器具(ULD)の体系的理解	各航空機の概要とその搭載制限や規定を学習する。また、搭載使用器具(ULD)の種類・特色やその重量規定、各状況に応じた取扱いについて実業務を交えながら理解する。
10	空港内貨物取扱施設の概要とそれに付随する他施設の理解	航空貨物の取扱いを実施する各施設の概要とそれを取り巻く環境及び各国の施設・設備等の検索について学習する。
11	航空貨物の受託とその取扱基準	各ステージにおける航空貨物の受託に際し、必要項目の確認とその注意点を学習する。また、注意を必要とする貨物品目内容について各テキストを参照しながら学習する。
12	航空貨物の予約方法とその注意点	IATA航空貨物代理店の視点から、どのようなプロセスで航空貨物の実態化が発生するのか学習する。同様に、特殊貨物の予約と受託の関係について理解する。
13	航空貨物産業の電子化、迅速化とその推進	航空貨物業界全体としてのEDI化推進とその平準化の手段、方法論を理解する。また、その迅速化によって、得られるプロフィットについて学習する。

回=90分	項目	内容
14-15	航空貨物運賃に使用される重量の算出とその単位規定	航空貨物運賃の大本となる貨物重量の算出の仕方と各検尺単位における処理の仕方を学習する。それに付随する、各単位の揃え方(切上げ、切捨て、四捨五入等)を検証する。
16-19	航空貨物運賃の算出とその種別	航空運賃を算出する方法を各種テキストおよびテキスト内TACT RATE表を用いてその方法を理解する。また、特定貨物の設定料金を該当するルールから見つけ出し、その適応方法と該当料金種別の中から最適となる設定方法を学習する。
20	各国通貨の検索方法とその最小単位の取り扱い方	各国で使用されている通貨をIATA CARGO INTRODUCTORY CAUSE 内 TACT RULE抜粋部分から検索し、其々の通貨単位と最小単位の揃え方(切上げ、切捨て、四捨五入等)を学習する。
21-23	OTHER CHARGES(その他の手数料)の種類とその計算方法	頻出するOTHER CHARGES (その他の手数料)①VALUATION CHARGE ②COLLECT CHARGE ③DISBURSEMENT FEE の内容とその適応ルール、計算方法を理解する。
24-25	航空運送状(Airwaybill)の意義と記載方法	国際航空貨物の運送に密接に関わる航空貨物運送状の記載内容と各条件に合うための文号を理解し、該当書類の作成ができる知識を学習する。
26	DIPLOMA資格試験の詳細の説明とその対策	DIPLOMA本試験における問題傾向とその内容の概略を理解し、試験問題の例題から解答を考察する。
27-30	IATA DIPLOMA本試験対策と弱点克服	過去の実際問題を演習し、傾向と自己の弱点を把握する。また、弱点に対する対応を考察し、理解度を深める。

2025 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分	専門科目					
学科・コース名	エアポートサービス科	グランドハンドリングコース			開講時期	1年次 通年
授業科目名	カーゴハンドリング業務	担当教員名	小川 健			
授業形態	講義	授業時数	60	単位数	4	選択必修区分 必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	航空貨物におけるグランドハンドリング部門での貨物取扱方法やハンドリング方法の基礎知識の習得					
到達目標 (150文字程度)	就職後、貨物上屋におけるハンドリング内容知識の習得と企業研修時における内容の理解					
評価方法	定期試験			その他の評価方法		
	筆記試験	レポート	取り組み姿勢			
	80%		20%			
教員実務経験	航空会社におけるグランドハンドリング部門での業務経験					
学生へのメッセージ (150文字程度)	就職後の研修内容を事前に理解し、早期に一人立ちするために専門用語や職場での何故を少しでも減らすことが出来ると考えます。時には実習場にて実物を使い教育を実施するため、聞いて、見て、体験型の授業となります。					
教科書	書名	エアカーゴマニュアル			書名	
	書名				書名	
参考書	書名				書名	

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	航空貨物について	航空貨物について理解する。
2	航空貨物ハンドリングとは	航空貨物を搭載するための積み付けから到着後の貨物の流れを理解する。
3		
4	航空貨物専門用語	航空貨物業界にて使用される専門用語を理解する。
5	輸送器材(ULD)	積み付け用の器材(ユニットロードデバイス)の取り扱いを理解する。
6	航空貨物必要書類	航空貨物運送、輸出申告、乗り継ぎ貨物に関わる書類の搬入に関わる書類を理解する。
7	航空貨物積み付け	航空貨物を積み付けるにあたっての基本を理解する。
8		
9	航空機の搭載制限	航空機各機種の搭載制限について理解する。
10	輸出入貨物の流れ	航空機で輸送される輸出入貨物の流れを理解する。
11	搭載、取降し指示書	航空機別の搭載、取降し時の指示書の内容を理解する。
12	航空郵便ハンドリング	航空機に搭載される郵便物の種類や取り扱い上の注意点を理解する。
13	航空危険物の輸送	航空機に搭載するときの危険物の取り扱い方法や注意点を理解する。
14	貨物機ハンドリング	貨物専用機のハンドリングについて理解する。
15	特殊貨物ハンドリング	超精密機械、重量物、長尺物に関するハンドリング時の表示ラベルの見方や基本搭載方法を理解する。
16	中間まとめ	航空貨物輸送におけるハンドリングに関するまとめ
17	復習	中間期までに習った航空貨物ハンドリングの内容を中心に理解度を確認。
18	タイダウン	航空機貨物室内にて必要なタイダウンについて現物を使用し施せるようにする。
19		
20	貨物容積計算方法	予約情報から積み付けをする際の貨物容積の算出方法を理解し、必要な機材、器の準備が出来るようにする
21		
22	貨物積み付け	ダミー貨物を使用し、容量計算及びULDへの積み付けを実施する。
23		
24	特殊貨物ハンドリング	積み付け貨物ラベルによる表示の見方、取り扱い時の注意点を理解し、特殊貨物(重量物や長尺物)の積み付けから航空機への搭載方法を理解する。
25		
26	貨物積み付け応用編	貨物の重量分散方法と搭載位置決定までの流れについて理解する。
27		
28		搭載貨物の航空機内への様々な固定方法について理解する。搭載貨物のネーティング方法や固定器具の強度を理解する。
29	貨物上屋作業での安全	貨物を取り扱う上屋作業での人身事故、貨物破損事故、等の不具合を防ぐための安全作業とはを理解する。
30	総まとめ	航空貨物輸送におけるハンドリングに関するまとめ。

2025 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		専門科目				開講時期	1年次	前期
学科・コース名	エアポートサービス科	グランドハンドリングコース						
授業科目名	ロードコントロール I	担当教員名	浅田 健一					
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修	
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	航空機の重量と重心位置管理の重要性について理解する。 ロードコントロール業務を通じて、空港業務を理解する。							
到達目標 (150文字程度)	重量と重心位置管理の算出 搭載計画とWeight&Balance Manifestの作成 ロードコントロールと空港業務との関係性の理解							
評価方法	定期試験			その他の評価方法				
	筆記試験	レポート	取り組み姿勢					
	90%		10%					
教員実務経験	エアライン企業におけるロードコントロール実務経験							
学生への メッセージ (150文字程度)	飛行機はWeight&Balanceが許容内であることを確認しないと飛ぶことができません。 搭乗業務を知ることで空港業務を理解しましょう。							
教科書	書名	なし			書名			
	書名				書名			
参考書	書名	なし			書名			
	書名				書名			

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	ロードコントロール 業務関連	ロードコントロール業務について
2		重心位置・水平尾翼について
3		重量と航空法
4		重量②
5		ATOWの算出
6		ペイロードの算出
7		各重量の算出
8	搭載計画・ Weight&Balance Manifest 演習	ULDについて
9		搭載計画書の作成①
10		搭載計画書の作成②
11		W&Bの作成①
12		W&Bの作成②
13	W&Bの作成③	
14	復習	まとめ
15		まとめ

2025 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		専門科目					
学科・コース名	エアポートサービス科	グランドハンドリングコース				開講時期	1年次 後期
授業科目名	品質管理		担当教員名	浅田 健一			
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	航空業界および企業・自身にとっての品質は何かを考える。 品質を維持向上させていく上で、基本となる用語や問題解決に役立つ具体的手法について学ぶ。						
到達目標 (150文字程度)	学んだ手法を用い、品質管理・カイゼンに取り組む。						
評価方法	定期試験			その他の評価方法			
	筆記試験	レポート	取り組み姿勢				
	90%		10%				
教員実務経験	エアライングループ会社での品質管理経験						
学生へのメッセージ (150文字程度)	航空業界に限らず必要な内容です。言葉は難しく聞こえますが、内容は難しくありません。 個人またはグループ単位で適宜ワーク(ディスカッション)を行います。 職種問わず、就職された後に関わる活動として、品質管理を理解して下さい。						
教科書	書名	なし			書名		
	書名				書名		
参考書	書名	なし			書名		
	書名				書名		

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	品質管理とは	自身を知る、チームとは
2		品質、品質管理、総合的な品質
3		カイゼン活動、仕事の進め方(PDCA)
4	進め方、方法	安全・品質の取り組み、顧客対応業務の品質管理
5		QC七つ道具・新QC7つ道具
6		QCストーリー、標準化
7		ブレインストーミング・なぜなぜ分析
8		工程とプロセス・報告・連絡・相談
9		5W1H・三現主義・安全衛生の活動・企業の品質管理紹介
10	重要な 取り組み	5S①
11		5S②
12		再発防止、未然防止、ヒューマンエラー
13		ヒヤリハット、危険予知(KYT)
14		まとめ①
15		まとめ②

2025 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		専門科目			開講時期		1年次	前期
学科・コース名	エアポートサービス科	グランドハンドリングコース						
授業科目名	グランドハンドリング業務 I	担当教員名	田中 陽彦					
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修	
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	航空機の機側で行われるグランドハンドリング業務の理解、航空業界の専門用語、取扱機・器材等に関する事について学ぶ。							
到達目標 (150文字程度)	グランドハンドリング業務を行う上での基礎的な知識と安全にハンドリングするための基礎を習得する。							
評価方法	定期試験			その他の評価方法				
	筆記試験	レポート	取り組み姿勢					
	80%		20%					
教員実務経験	グランドハンドリング業務実務経験							
学生へのメッセージ (150文字程度)	グランドハンドリング業務を目指し、携わる者として身に付けておく知識を積極的に吸収する。							
教科書	書名	航空機のグランドハンドリング			書名			
	書名				書名			
参考書	書名				書名			
	書名				書名			

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	グランドハンドリング	グランドハンドリング業務会社の設立経緯と発展及び現状のグランドハンドリング業務の範囲について
2	概要	グランドハンドリング業務が到着便及び出発便の中でどのような場面に関りがあるのかについて
3	業界用語基礎	航空業界で使用されているIATAコード/ICAOコード(空港コード・航空会社コード・航空機コード)の意義と重要性について
4		航空機に使用されるULDの種類とタイプ・用途およびIATA IDコード・IATAコードについて
5	航空機地上支援機材	搭降載作業にて直接航空機に関わる地上支援機材の種類と用途について
6		搭降載作業にてULD等を搬送するための器材の種類と用途及び取扱上の注意点について
7		各航空機の貨物室概要とULD搭載方法について
8	搭載・取り卸し関連知識	旅客便と貨物便の危険物輸送の相違点について
9		各航空会社の搭載計画書および取り卸し指示書の見方と記載内容について
10	搭載・取り卸し作業	指示書を基に搭載/取り卸し作業の手順と注意すべき点について
11		各機種の出発便作業/到着便作業の手順と関係する付帯作業について
12		バルク搭載/取り卸し作業時における注意点と着眼点およびロードマスター業務の概要について
13	安全知識	ランプ内において作業を行う際の安全と搭降載作業時の品質管理の考え方について
14		空港内での車両を運転する際の規則について(東京国際空港制限区域内車両安全運転教本)
15	まとめ	総括

2025 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分	専門科目		グラウンドハンドリングコース		開講時期	1年次	通年
学科・コース名	エアポートサービス科		グラウンドハンドリングコース				
授業科目名	グラウンドハンドリング実習 I		担当教員名	田中 陽彦・村山 一成・小川 健・田中 敏・熊澤 成弘			
授業形態	実習	授業時数	180	単位数	4	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	空港内におけるグラウンドハンドリング業務全般の実技及び車両機材の走行、操作における基礎知識の習得						
到達目標 (150文字程度)	車両の点検、特性を理解し、トローイングトラクターの運転から、パレットドーリー、コンテナドーリーのけん引操作の取り扱いを習得する。						
評価方法	定期試験			その他の評価方法			
	筆記試験	レポート	実技試験	座学試験			
			90%	10%			
教員実務経験	航空会社におけるグラウンドハンドリング業務経験						
学生へのメッセージ (150文字程度)	空港における機側周りで使用される本物の車両、器材を専用実習場にてより実践に近い形で習得します。						
教科書	書名	航空機のグラウンドハンドリング			書名		
	書名				書名		
参考書	書名	教員作成のグラウンドハンドリングテキスト			書名		
	書名				書名		

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1~20	トローイングトラクター (TT車)	<p>【座学】</p> <ul style="list-style-type: none"> TT車の性能諸元や特性、取り扱い上の注意点、点検方法を理解する。 <p>【実技】</p> <ul style="list-style-type: none"> 走行前の保守点検方法を理解し、点検用紙の記入方法を学ぶ。 TT車特有の機能、取り扱いの基礎を理解する。(左ハンドル、連結機能の仕組み、ディーゼルエンジンの始動方法) GH実習場内のコースを単独にて走行が出来るようにする。 車両誘導方法を理解する。
21~60	パレットドーリー (PD)	<p>【座学】</p> <ul style="list-style-type: none"> 大型貨物を搬送に使用するパレットを移動するためのPDの諸元や特性、取り扱い上の注意点を理解する。 <p>【実技】</p> <ul style="list-style-type: none"> 外観からブレーキ機能、タイヤチョーク、パレットストッパー、ローラーの著しい損傷がないかの点検を実施。 取り扱う上での注意点を理解し、操作方法を理解する。 PDを連結する訓練、前進時の内、外輪差や走行時の特性を理解した上での走行が出来るようにする。 PDを連結し、後進時のハンドル操作が思うように出来るようにする。 ハイトローダーへのPD装着が出来るようにする。 空パレットドーリー同士の連結と誘導 搭載パレットドーリー同士の連結と誘導
61~75	コンテナドーリー (CD)	<p>【座学】</p> <ul style="list-style-type: none"> 手荷物や小型貨物を搬送するためのコンテナを移動するためのCDの諸元や特性、取り扱い上の注意点を理解する。(パレットドーリー座学時に同時に説明) <p>【実技】</p> <ul style="list-style-type: none"> 外観からブレーキ機能、タイヤチョーク、コンテナストッパー、ローラーの著しい損傷がないかの点検を実施。 取り扱う上での注意点を理解し、操作方法を理解する。 CDを連結し、前進時の内輪差、外輪差、走行時の特性を理解した上での走行が出来るようにする。 CDを連結し、ハイトローダーへの装着が出来るようにする。
76~80	航空機誘導 (MAS)	<p>【座学】</p> <ul style="list-style-type: none"> 航空機誘導信号の理解と解説、緊急時の判断要領と処置方法の習得 <p>【実技】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種誘導信号の反復練習にて明確な信号が出来るようにする。 車両を使用して誘導信号全般、判断力を習得する。
80~85	フォークリフト復習 (FL)	<p>【座学】</p> <ul style="list-style-type: none"> FL車の走行に関する装置の構造及び取り扱いの方法に関する知識の再確認 <p>【実技】</p> <ul style="list-style-type: none"> FL車の始業点検説明 空荷走行(前進、後進)、荷役作業
86~90	緊急離脱方法の理解 (HL、BL)	<p>【座学】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各車両タイプごとの故障判断方法と、離脱実施方法の知識習得 <p>【実技】</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全確認のポイントと各車両タイプでの緊急離脱要領、牽引方法

2025 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		専門科目				開講時期	1年次	集中
学科・コース名	エアポートサービス科		グランドハンドリングコース					
授業科目名	フォークリフト実習		担当教員名	村山 一成 ・ 日本ライン自動車学校 ・ GH担当教員				
授業形態	実習	授業時数	40	単位数	1	選択必修区分	必修	
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	フォークリフト実習運転技能講習を受講し、(限定の付かない1t以上)フォークリフトの運転操作技術を習得し、資格取得試験に合格する。(また航空業界で活用するための基本操作をグランドハンドリング担当教員にて教育する。)							
到達目標 (150文字程度)	フォークリフトの走行、操作技術の資格(フォークリフト技能講習修了証)を習得する。							
評価方法	定期試験			その他の評価方法				
	筆記試験	レポート	学内技能審査	資格取得				
		40%	30%	30%				
教員実務経験	航空会社におけるグランドハンドリング業務経験教員							
学生へのメッセージ (150文字程度)	自動車学校にて行われるフォークリフト荷役講習を受講し、1t以上のフォークリフトを扱える資格を習得を目指す。学校内にてフォークリフトを運転、操作するため訓練を行います。							
教科書	書名				書名			
	書名				書名			
参考書	書名	教員作成のグランドハンドリングテキスト			書名			
	書名				書名			

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1~2 (午前)	フォークリフト (座学)	【座学】日本ライン講師
		・FL車の走行に関する装置の構造及び取り扱いの方法に関する知識の習得。
		・運転に必要な力学の関連知識並びに関係法令
3~5		・学科試験
6		・実技試験
7~20	フォークリフト (実技)	【実技】日本ライン講師
		・FL車の始業点検説明
		・空荷走行(前進、後進)
		・走行と荷役作業
		・実技試験
*講習会終了後、別日に学校内にて受講した内容の知識、技能を確認します。(校内グラハン実習講師)		

2025 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		専門科目							
学科・コース名	エアポートサービス科		グランドハンドリングコース			開講時期	1年次	後期	
授業科目名	航空無線		担当教員名	小川 健					
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修		
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	空港内にて使用する各種無線についての理解、及び航空機けん引作業時に必要となる無線技士資格取得前の事前教育及び知識の習得。								
到達目標 (150文字程度)	第2級陸上特殊無線技士資格取得								
評価方法	定期試験			その他の評価方法					
	筆記試験	レポート	授業課題	取り組み姿勢					
			80%	20%					
教員実務経験	航空会社における無線使用のグランドハンドリング業務経験								
学生へのメッセージ (150文字程度)	空港内での航空機けん引作業等に必須な国家資格となります。難しい内容ですが授業を通して少しでも理解を深めて講習に挑んで下さい。								
教科書	書名	教員作成資料			書名				
	書名				書名				
参考書	書名				書名				
	書名				書名				

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	オリエンテーション	本講義全般の内容・構成及び意義・目的の説明
2	空港内無線業務	空港内で使用される無線の種類について理解する。
3		空港内で使用される無線の用途及び各セクションについて理解する。
4		フォネティックコードについて理解する。
5		
6	無線法規	無線使用に対する関係法規及び法令について理解する。
7		
8		
9	無線工学	無線工学について説明
10		
11	無線講習受講対策	過去問題演習(運用・法規)
12		過去問題演習(運用・法規)
13		過去問題演習(運用・法規)、無線講習準備
14		過去問題演習(運用・法規・工学)
15	まとめ	無線業務及び講習に関するまとめ